

H29年度 教育目標達成のための方策

校訓 じりつどくそう 自律独創 じがくじしゅう 自学自習 きんべんりっこう 勤勉力行 めいろうかつたつ 明朗闊達

教育目標 「一人ひとりを大切にし、生きぬく力を育む」

具体目標

- (1)自分と他人を大切に作る豊かな心を育てる。《心の教育》
- (2)共に学び、高め合い、確かな学力を身につけさせる。《基礎基本》
- (3)よい生活習慣を身につけさせ、心身共に健康な生徒を育てる。《心・技・体》
- (4)”日々実践”こそが第1の研修：研修を大切に作る。《切磋琢磨》
- (5)家庭・地域から信頼を得て『共育』を行う。《地域共育の基盤》

目指す学校像

- (1)教職員が働きがいのある学校
- (2)生徒が学んでよかったといえる学校
- (3)保護者・地域社会に信頼される学校
- (4)教職員の創意と協力を基盤にした学校『チーム小田北』

目指す生徒像

- (1)自分を大切にし、他人を思いやる生徒
- (2)共に学び、高め合う事に喜びを感じる生徒
- (3)自らの力で未来を切り拓く、たくましい生徒

目指す教師像

- (1)子どもと豊かなコミュニケーションをとる教師
- (2)日々専門性の向上に励む教師
- (3)使命感を持つ教師

教育目標等を基に各学年目標・学級目標を立ててください。

1 教職員が働きがいのある学校を目指す。(勤務の適正化を図る)

(教職員が元気 生徒が元気 保護者地域の協力が得られる 教職員が元気に働ける)

教職員が心を一つにして、“チーム小田北”として、お互いの立場を理解し合い、支え合う。

教育者として資質向上に努めプロ意識を持つ。学校・保護者・地域・関係機関との協働体制を作る。

2 生徒が行きたくなる(喜んで登校する)学校、保護者が行かせたくなる学校

地域が応援したくなる学校を目指す。

生徒に夢を持たせ、目標を持たせ、それに向けて努力させ、それを支援する。

3 地域、保護者と連携して共に学び、育む『共育』を目指す。

学校・保護者・地域のそれぞれの役割を明確にしなが

らも、連携をとり共に育(そだ)て、育(はぐく)む気持ちで取り組んでいく。

この三つのことは、先生方が常に頭に置いてやっていって下さい。

「生きぬく力」を育む教育の推進 <教科指導・学習指導の充実 学力の向上>

自立(自ら考え、行動する生徒・学ぶことの喜びを感じる生徒)

1 「わかる授業」実践への工夫・改善... 指導方法の工夫や言語活動を充実させた教科指導の計画

日々、工夫・改善をして、全員が参加できる授業と学級経営の創造・組織的な生徒指導を 次期指導要領の

事も頭に置き方向性をとっていく!

(1) 授業時数の確保 総授業時間数でなく(1015)、できる限り各教科標準時間数の確保

(2) 少人数授業によるきめ細やかな指導

県教委加配：新学習システム 1.75 (週 2.9 時間) = 教科：英語・数学

市教委：アクティブラーニング (週 2.4 時間) = 教科：未定 (授業等補助)

：家庭学習指導員(週 10 時間)未定(宿題をまとめ・放課後学習 PC 室利用)

(3) 基礎・基本の定着と学力向上 “学び合い高め合う授業” を目指して・・・研究主題

各教科又は各自での工夫(低位生徒減・中間層底上げの工夫)

放課後、長期休業中の補充指導・質問日、朝学習、宿題等による家庭学習時間増

一人で机に向かう時間を増やす ... 家庭にも啓発

児童生徒支援加配の活用 TTのT2で全学級で支援 基本的学習習慣等指導

学力定着支援事業：補助員による平日・土曜・テスト前学習(全学年)

夏季休業中10日間前後(中3)...より一層、教科担当との連携を目指す

(4) 生徒の学習定着度確認 文科省学力テスト(中3)悉皆調査 4/18(火)

市教委:学力調査(中3:6月2日・11月6日) 市教委:到達度調査(中2:1月26日)

各教科研究会作成の問題 3月個人票返却 25年度より全中学校で実施:授業に生かす

定期テスト・各種テストの充実 学区拡大に当たり評価規準・評定の意識がより必要です。

2 読書活動の推進 図書館の活用充実 委員・図書ボランティアによる運営 読書活動推進

3 教育機器・特別教室の活用 視聴覚・LL・コンピュータ教室

新ICT利用と有効活用、家庭学習支援事業Eライブラリの利用促進(2年目EFSクラブ)

4 学習習慣(家庭学習)の確立 週末学習課題 各教科での工夫と学級担任との連携

5 特色ある学校づくり 総合学習・「行事の小田北」

6 作品の展示、発表の機会 文化発表会、音楽祭、英語祭、各教科研究会等

7 **検定試験の奨励** **英語検定金曜日放課後(教育振興事業1,000円補助)**、各種検定の実施検討

敬愛(自分を大切に、他人を思いやる生徒)

1 道徳 年間計画による各学級・学年での実施 公開授業の実施

H27年度:阪神地区研究発表終了しましたが、H29年度もオープンスクール時に**全クラス公開します。**

2 あいさつ運動、自主的・自律的な活動、地域と連携した緑化活動(学校周辺等)

3 学校行事、生徒会、委員会、部活動等の推進

4 生徒指導 担任の個性を生かしながらも組織的な学級経営の充実を図る

担任・副担・該当者 学年団 生徒指導主事 管理職の徹底

組織的な指導体制と関係機関との連携と早期対応のため報告・連絡・相談

原点:1時間、1時間の教科授業、学級経営による生徒指導...学級経営と教科指導の充実

各学年内外の連絡調整・情報共有...授業を空にしない。 緊急以外生徒は授業に。

5 特別支援教育 特別支援学級との交流、該当者の個別指導計画の作成

6 不登校指導 月3~4回程度の訪問等による本人及び保護者の状況把握(早めの対応)

7 特別支援コーディネーター、教育支援員、スクールカウンセラー(週1回)や関係諸機関との連携

市教委:学校訪問指導員、はつらつ学級、県教委:山の学校、やまびこの郷

8 教育相談の充実 年2回(6時間の時は45分授業)、長期休業中の活用促進

精励（自らの力で未来を切り拓く、たくましい生徒）

- 1 教科体育の充実 2 体育的学校行事の充実 3 **キャリア教育** 職業調べ（1年）トライやる（2年）
進路指導（自己理解・生き方指導）

上級学校説明会・公立学区拡大3年目（保護者対象あり・PTA連）・面談等（3年）

- 4 宿泊学習（1年）・修学旅行（3年）の実施 行動様式、都会にない自然体験活動
5 保健だより等の活用
6 生徒会活動の活性化 本部、委員会、行事等実行委員会の活性化
7 防災訓練の実施 年2回実施規定
8 人権教育、食育、環境教育 **全校一斉実施：人権作文(h28年度感謝状)**
9 部活動の活性化 **活動計画(ノ一部活デー・下校時間等)を広報**

より多くの教員が部活動に係わる体制

- ・異動等により顧問不在の時（年度末又は総体までの顧問 外部コーチ招聘）

今年度の外部コーチ（未定） 男子卓球、女子バスケット、茶華道

- ・学校外スポーツ活動（小田北中の名称使用） 水泳... 中体連の主催の大会：市・阪神・県大会

部活動の充実を図る・・・活動と休養のバランスをとる。下校時間の徹底・練習計画を立てる

（部活動の充実・部活の整理する。廃部も視野に入れながら）

1週間1日の休養日、1ヶ月土日に2日の休養日を取ること(県への報告と4号業務との整合性)

家庭と地域の理解と協力を得る（**保護者会開催等各部単位で確実に実施する**）

下校時間（2～11月：午後7時 12～1月：午後6時30分 市の申し合わせ事項）

完全下校です。 30分延長の特例大会がありますが、申告して下さい。

「地域とともに歩む学校」『共育』を目指す。

「信頼・責任・誇り」を基にした活動の充実

- 1 学校公開（5月(土)・10月・1月(土)：新入生説明会）、保護者懇談会（7月・12月）の実施
2 広報活動（情報の発信） 学校便り、ホームページ、各種たよりの発行
新PTAメールの活用（保護者に登録奨励）
3 学校評価等の実施と公表
4 保護者対応

時代の変化と共に保護者の価値観は多種多様化している。「**保護者を被告席に立たせない**」ような対応

学校内で起こったこと：**保護者へ早期報告・初期対応に注意** 学年内での情報交換

5 小中連携... **9年間で育てていくという意識の醸成**

生徒会交流・小6の部活動体験・年度末の情報交換・**英語科の連携強化**

教員相互に学校訪問、夏季合同研修、クラス分け、小6へ出前授業

6 地域との協働・参加 地域コンサート等参加・夏季休業中の組織的・計画的補導活動

教育環境の整備と校務処理・職員研修

1 諸会議の効率化と計画的な組織運営・校務処理 **定時退勤日 19時（毎週月曜日）**

電子化による事務処理(サーバーS・Xの利用)、

スズキ校務による処理(市内統一へ) 指導要録等遅れたら市内全体に影響!

より一層会議の統合・精選化 (生徒と向き合う時間を増やす) 職員会議は電子化

出勤簿押印、市教委等宛書類・点票交換 提出期限遵守 **より一層の意識改革必要**

事務処理は、サーバーX利用・スキルアップし迅速確実に 生徒と向き合う時間優先

学校評価(教員用)・行事後のアンケートをスズキ校務にて処理

教師も“時を守り 場を清め 礼をただす”約束事の厳守・1日の日程は前の白板

2 個人情報の管理 Sサーバーでの管理 個人情報入ったUSBは持ち出し禁止

3 環境整備・美化 学習環境の整備(教室)

校内外緑化推進：生徒会美化委員会 学校西南側フェンス緑化

北館1階SC室隣の教具室 H27度より進路会議室(教材等あるため生徒のみ入室禁止)

4 職員研修・作業 夏季休業中(道徳・人権、教育課程、小中連携等)・職員作業

5 服務事故、学校事故の防止 危機管理意識の高揚、安全指導、交通事故防止

6 会計 学年会計(教材費) **出納簿：厳格化される**・行事関連会計・部活動(市教委委託金・部費)

教材の選定にあたっては私費負担の軽減に心がける。

透明化を図り、保護者に会計決算を確実にを行う(集めたお金は決算報告)

日々、計画的・組織的に実践

年間行事計画・月中行事計画に従って動く。**原則変更はしない。(計画性を持って進める)**

早めに案を明示し共通理解を図る。そのためには、案には何のために(目的)・誰が何をするか役割分担

等を明確にしておく。不慮の事情や想定外は臨機応変に動く。

学習指導や行事等終了後は、反省・感想などを元に次年度の計画する。

(終了時点で次年度概要案を決める方向へ) P D C Aサイクルの意識・次のPまで意識

組織的に動く(学年・学校単位) みんなで動く(一人で悩まない、動かない)

個人・学年間 学年・生徒指導・教務主任 教頭 みんなで動くように心がける。

*特に学年がまたがっているとき報告連絡相談は徹底

そのためには情報共有・共通理解 計画的な事前の準備(作戦)が必要

3年間を見通した指導を(保護者に説明責任を果たす) 8割の保護者が納得する説明が必要

今は時の流れが速い。10年ひと昔ではない。3年ひと昔?

経験や知識は大事だが、毎年同じ事をしていては? 常に自己変革の意識が必要です。

次回、学習指導要領改訂に向けて動いています。(中教審・新学習指導要領告示)

*前例踏襲より、前例はないが理にかなない生徒の実態に合致し、生徒のためになることは検討し、実現可能なら実行します。新しいアイデアをどんどん出して下さい! まずは、相談です。そして、報告・連絡はこまめにする。

*子どものために新しいアイデアを実践したい先生は、校長の責任の元で自由に教育活動をするべきです。但し、計画する前に必ず事前に相談して下さい。

***但し、教育の根っこは不易です。**

“信は万物の基をなす” すべての基本になるのが、信頼関係である

(教職員も生徒も保護者も地域も関係機関も)

5月以降 職員面談を随時実施していきます。

平成29年度の個人の目標をしっかりと設定してください。

スティーブ・ジョブズ...

「私のビジネスモデルは、ビートルズ。欠点を補い合い個々の力以上の力を発揮していた。
偉業は、個人之力ではなく『チームの力』によって成し遂げられるのだ」

『懸命』に働くな! 『賢明』に働こう!